



目標志向™

「目標志向」の資質が顕著な人は、目標を定め、その目標に向かってまい進し、目標達成に必要な修正を行うことができます。優先順位をつけてから、そのとおりに行動します。

「目標志向」の才能が強い人は、優先順位をつけてから行動に移ります。彼らは目標を設定します。この目標は彼らの羅針盤となり、優先順位を決定したり、行き先に向かうコースに戻るために必要な修正をする助けになります。彼らの目標志向は素晴らしい力を持っています。自分の行動をふるいにかけて、その行動が目標へ近づくために役に立つかどうかを本能的に評価してから行動するからです。最終的に、強い「目標志向」が彼らの効率性を高めます。ひたむきさが仕事の速度と品質を高め、チームを本筋に保つため、チームにとって彼らは非常に貴重な存在となります。

能力と優位性

他の人が脇道にそれ始めると、「目標志向」の強い人が彼らを本筋へ連れ戻します。注意がそれて時間がかかるのを回避し、全員が進路から外れないようにサポートします。

「目標志向」が上位資質である人：

周りの人が目的から目をそらさないように手助けするようにします。

- チームの一員としてのあなたの最大の存在意義は、他の人が目標を設定する手助けができることです。グループプロジェクトでは、会議の終わりに決定事項をまとめ、それを実行する時期や次回の会議日程を決める役を担うとよいでしょう。
- 目標を立てる際は、期限と測定値を設定するようにします。これにより、進捗を定期的に確認できるようになります。
- 自分の目標を書き出し、それを頻繁に確認するようにします。これにより、自分の生活をよりコントロールしやすくなります。
- 目標設定の能力を仕事以外の場にも広げるようにしましょう。仕事の目標に集中しすぎていると感じたら、私生活に関する目標も設定します。これにより、個人的な優先事項に重点が置かれ、生活のバランスを取り戻すのに役立ちます。
- 誰もが自分のように効率的に考えたり、話したり、行動したりできるものではないことを理解するようにします。「回り道」が発見や喜びにつながる場合があります。

「目標志向」が下位資質である人：

どのように物事を遂行すればよいかを考えるようにします。「目標志向」の資質に欠けていても、集中して目標を達成することはもちろんできます。

- 上位の資質の中で、目標への方向付けと明確さを与えてくれるものを見つけてください。「信念」や「自我」の才能は、願望や目的を正しく設定するのに役立つことがあります。他の人にとって「目標志向」の才能がもたらすのと同じ方法で、「アレンジ」、「公平性」、「未来志向」、「回復志向」の才能があなたにとって物事を順調に進めるのに役立つかもしれません。
- 仕事をやり遂げるためのエネルギーをくれるサポートシステムを構築するようにします。最高の仕事を成し遂げるには、1日の中で「息抜きする時間」を設ける必要があるかもしれません。たとえば、コンピュータを使って長い時間仕事をする人なら、30分おきに立ちあがってストレッチをしたり、音楽を聞いたり、友人や同僚と話をしてから、目の前の課題に戻るようにします。こうしたサポートシステムによって、常に新鮮な気持ちで集中でき、仕事に打ち込むことができます。
- 作業環境からできる限り邪魔になるものを排除します。